



☆ 臨時窓口もクリスマス仕様です ☆

大規模工事のため図書館が休館となって早くも3ヶ月が経ちました。12月の開館を心待ちにしてくださっていた皆様には大変申し訳ございません。休館が2026年2月27日まで延長となりました。外壁の補修箇所を一つ一つ修復していますので、安全のためとご理解いただけましたら幸いです。今回の改修工事では内部はそれほど大きく変わっておりませんが、老朽化が目立つ箇所を補修しています。また、せっかくの長期休館ですので、これまでなかなかチャレンジできなかった取り組みなどをスタッフ全員でアイデアを出しながら準備中です。詳しくは開館してからのお楽しみにしていただきたいのですが、少しでも館内の様子をご紹介します。

図書館からのお知らせ

相生市立図書館は、建築から40年以上が経過し、老朽化による施設の劣化が見られます。これからも安全・快適にご利用いただくため大規模改修工事を行っています。休館中も予約資料の貸出等のサービスを継続して行っておりますので、詳細につきましては、相生市立図書館ホームページにてご確認ください。みなさまにはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

＜＜休館期間＞＞

令和7年9月1日（月）～ 令和8年2月27日（金）

●臨時窓口

【ところ】相生市文化会館扶桑電通なぎさホール

【時間】10：00～17：00

【休館日】毎週火曜日、12/17,12/29～1/3、1/14、1/21、2/12、2/18、2/25

【利用可能なサービス】

- ・資料の貸出
- ・予約、リクエスト、相互貸借の受付
- ・貸出資料の延長、返却
- ・利用者登録（新規登録、再発行、更新、変更）

●市立公民館での貸出、返却

- ・相生公民館、陸公民館、東部公民館、西部公民館、矢野公民館、若狭野多目的研修センターで、予約資料の貸出ができます。
- ・上記の市立公民館と相生情報ラウンジで貸出資料の返却ができます。
- ・市立公民館には相生市立図書館の蔵書を置いた図書室が設置されています。そちらもご利用ください。

●ブック・デリバリー

- ・予約資料を自宅までお届けします。図書館スタッフが車で届けますので、対面で直接手渡せる場合のみご利用可能です。ポストや宅配ボックスはご利用いただけません。また、返却資料の引き取りは行いません。
- ・あらかじめ、ブック・デリバリーサービスの申込が必要です。窓口かお電話でお申し込みください。

※図書館休館中は図書館にある返却ポストのご利用はできません。

※資料の予約は、電話または相生市立図書館ホームページからも行えます。予約時に特にご連絡がなければ、臨時窓口での貸出となります。市立公民館での貸出、自宅へのブック・デリバリーをご希望の方は相生市立図書館までご連絡くださいますようお願いいたします。



新着図書コーナー

新着図書コーナーが一般室に入ってすぐのカウンター前に移動しました。休館中も新しい本がどんどん入ってきています。ほぼすべて臨時窓口に通んでいますので、お手に取ってご覧ください。うしろに見える棚には、これまで大型本を置いていましたが、皆様によく見ていただけた一等地ですので、新たに郷土資料の常設展示を準備しています。相生で生まれ育った方にも、よそから越してこられた方にも、改めて相生のことを知っていただければと思います。

閲覧スペース

一般室をまっすぐ進んだ一番奥に、新たに閲覧スペースを設けました。これまで雑誌書架が置いてあった場所です。館内の所々にあった椅子やテーブルを集めて、静かにゆったりと落ち着いて読書ができる空間にしました。図書館がより居心地のよい場所になればと思います。



児童室

児童室も模様替えしました。これまでガラス戸をふさぐように置かれていた棚を部屋の中央へ移動したので、玄関ホールから児童室の中が見えるようになり、全体的に明るくなりました。紙芝居や絵本を整理したり、展示を増やしたりして、さらに使いやすく楽しい児童室にしています。

休館日カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
12月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

	日	月	火	水	木	金	土
1月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

 休館日

※施設の都合により、臨時窓口、自習室・読書ブースの開設場所が日によって変わります。ご来館の際は、必ず図書館ホームページ、Instagramまたは、なぎさホール正面入口の案内をご確認ください。

ブックガイド

文学賞の受賞作・映像化作品・新聞の書評情報などをご案内します。

『山のフルコース』 はらぺこめがね／作 小学館 P-Ⅷ



山の奥のその奥に、1軒のレストランがありました。メニューは「山のフルコース」のみ。どこからかお客さんがやってきました。窓から見えるのは美しい山並み。これから、長い長いフルコースの始まりです…。

第74回 小学館児童出版文化賞 受賞作

『一場の夢と消え』 松井 今朝子／著 文藝春秋 F-7



越前の武家に生まれた杉森信盛は京に上り、芸の道を歩み出す。「近松門左衛門」の名が轟き始めた頃、大坂の心中事件に触発されて書いた「曽根崎心中」が異例の大入りを見せるが…。

第38回 柴田錬三郎賞 受賞作

『トリツカレ男』 いいし しんじ／著 新潮社 F-Ⅰ



ジュゼッペのあだ名は「トリツカレ男」。何かに夢中になると、寝ても覚めてもそればかり。そんな彼が、寒い国からやってきた風船売りに恋をした。悲しみに凍りついた彼女の心を、ジュゼッペは、もてる技のすべてを使ってあたためようとするのだが……。

まぶしくピュアなラブストーリー。

「トリツカレ男」声の出演：佐野晶哉・上白石萌歌ほか 2025/11/7 公開

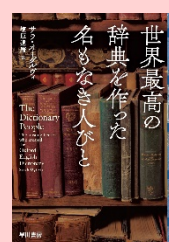
『草迷宮』 泉 鏡花／作 岩波書店 F-Ⅰ



幼な子の昔、亡き母が唄ってくれた手毬唄。耳底に残るあの懐かしい唄がもう一度聞きたい。母への憧憬を胸に唄を捜し求めて彷徨する青年がたどりついたのは、妖怪に護られた美女の棲む荒屋敷だった。毬つき唄を主軸に語りの時間・空間が重層して、鏡花ならではの物語の迷宮世界が顕現する。

「草迷宮」出演：窪塚俊介・永嶋柊吾ほか 2025/11/28 公開

『世界最高の辞典を作った名もなき人びと』 サラ オーグルヴィ／著 早川書房 833



20世紀にイギリスが威信をかけて編み上げた、世界最高峰の辞典「オックスフォード英語大辞典」。しかし実際に語彙を集めたのはひと握りのエリートではなく、無名の市民たちだった。辞書編纂者の著者が未公開の記録を掘り起こし、その知られざる歴史を明かす。

11/1 日経新聞朝刊・11/2 読売新聞朝刊掲載